



与野党から
批判相次ぐ

重症者以外は自宅療養 方針撤回を



「報道1930」で発言する小池書記局長 (BS-TBSから)

政府は2日、急増する新型コロナウイルス患者の入院対象を重症者などに限定し、それ以外は自宅療養とするとした方針を決定。同日夜のテレビ番組に出演した日本共産党の小池晃書記局長は、「在宅死が次々と起きかねない、あまりにもひどいやり方だ」と批判しました。

政府は2日、急増する新型コロナウイルス患者の入院対象を重症者などに限定し、それ以外は自宅療養とするとした方針を決定。同日夜のテレビ番組に出演した日本共産党の小池晃書記局長は、「在宅死が次々と起きかねない、あまりにもひどいやり方だ」と批判しました。

また、この委員会では与党である公明党も、政府に「撤回も含めて検討し直して頂きたい」と要求しました。

委員会でこの質疑では、政府対策分科会の尾身茂会長が政府からの打診の有無について「この件に関しては相談したことはない」と述べました。

首相、記者団に「撤回しない」

与野党から方針撤回を求められた菅首相は記者団に対し、「撤回はしない。方針を理解してもらおう」などと答え、乱暴で無責任な方針に固執する姿勢を示しました。

感染急拡大に危機感

前田英雄北区保健所長のインタビューを掲載した4日付「しんぶん赤旗」記事を紹介します。

入院できない事態も

「これまでに経験したことがない感染拡大となっている。東京都内の新規感染者数が初の3000人を超えた7月24日、新型コロナウイルス対策を助ける市民労働者同盟の記者会見で、前田秀雄「ポッド」は、この危機感を示しました。同報のメンバーで東京都北区保健所の前田秀雄氏に聞きました。



東京都北区保健所長 前田秀雄さんに聞く

「これまでに経験したことがない感染拡大となっている。東京都内の新規感染者数が初の3000人を超えた7月24日、新型コロナウイルス対策を助ける市民労働者同盟の記者会見で、前田秀雄「ポッド」は、この危機感を示しました。同報のメンバーで東京都北区保健所の前田秀雄氏に聞きました。

感染急拡大 変異株が影響

感染急拡大 変異株が影響。東京都北区保健所長 前田秀雄さんに聞く。

(1面につづき)

東京都で病床不足が深刻になった「第3波」の際、感染判明後しばらく入院の調整がつかない人が急増し、自宅などで死亡する例が相次ぎました。

「第4波」の際でも、重症病床が埋まり、高齢の重症者が必要な医療を受けられず、亡くなる人が続出しました。患者さんの中心が重症化リスクの高い高齢者でしたから、医療の逼迫はひとくくが、生命の危機に結びついたので。

今回の感染拡大について、高齢者の感染、重症化が増えていることを理由に、第3波と比べて危機的状況ではないという見方も出ています。しかし、楽観視することではできないと思います。

若者の重症者増危ぐ

夏休み・五輪…活発行動の時期

効果で高齢者に感染が広がっていないという意味では第3波とは違いますが、それでも感染自体が第3波よりも非常に大きいのです。若い人の感染が中心です。若者の感染が中心です。若者の感染が中心です。

映画を観たら選挙に足を運び一票を投じたくなる —そんな映画です



映画「パンケーキを毒見する」(内山雄人監督)

スターサウンズ配給 新宿ピカデリー、池袋シネマロサなどで上映中。

長く続く安倍・菅政権の下で、漠然と日本がおかしくなってしまったと考える人は多いのではないか。現政権のトップの地位にいる人物を正面から批判するという前例のない映画に、政権与党の国会議員が堂々と出演していることにまず衝撃を受ける。

石破茂氏は、かつて小泉純一郎元総理が「小選挙区制にしたら官僚言いなりの国会議員ばかりになる」と警告していたことを述懐。村上誠一郎氏は、かつての自民党は反対意見にも真摯に耳を傾ける度量の広さがあったと述べ、安倍・菅政権は、もうかつての自民党ではないと喝破する。

「強権と仕返し」が本質の政権

では、菅義偉とはいかなる人物で、その内閣がめざすのはどんな政治なのか。

映画は、国会では首相が官僚から回ってくるメモを見ないとまともに答弁もできない姿をさらけだす一方、自分に羽向かう者は徹底して排除し押さえ込む「強権と仕返し」という政権の本質を浮き彫りにしている。

健全な批判者としての国会とマスコミ

おかしいと感じながら、「政治は変わらない」とあきらめる人も多い中、映画では、国会とマスコミが健全な批判者としての役割を果たすべきと説き、その代表として日本共産党の国会論戦と「しんぶん赤旗」編集局を取り上げる。ここは背筋が伸びるところ。

何とも刺激的なタイトルだが、映画を観ることで選挙に足を運び、国民の明確な意思で政権を変えようという制作者の意図が強く伝わってくる。(のの山けん)



民団新年会での卓保子さん(2020年1月26日)

在日本大韓民国民団
北支部団長

卓保子さんを偲ぶ

突然の訃報を受けたのは、2年ぶりに対面で開催された北区日韓親善協会総会の前日、7月8日のこと。卓さんは、歌と踊りが上手で、いつも笑顔でまわりを明るくするお人柄でした。私が日韓協の役員になった頃、「一緒に日韓関係の歴史を勉強したい」と貸してくれたのが「閔妃暗殺」という本。この本は、私の韓国観を一変させました。前任の姜義宝さんに続く急逝に、無念の思いを拭い去ることができません。(のの山けん)